



第68号
12月定例会
平成27年1月20日

こんにちは

豊丘村議会 です



議長年頭あいさつ1ページ
12月定例会の様子2ページ~4ページ
予算委員会の質疑から5ページ~6ページ
第2回議会報告会7ページ
12人が一般質問8ページ~20ページ
リニア特別委員会21ページ
委員会の報告22ページ~23ページ
追跡24ページ
みんなのページ25ページ

発行/長野県豊丘村議会
編集/議会だより編集委員会
印刷/龍共印刷

〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

豊丘村議会

検索

第4回定例会 議会基本条例を制定

条例の制改定は…

平成26年第4回定例会は、12月2日から18日までの17日間の会期で行われました。開会日に専決承認3件、条例制改定7件、補正予算6件、陳情2件が上程され、専決3件は全て承認、条例案は3件が可決、4件が委員会付託、補正予算及び陳情も委員会付託されました。再開日（18日）には、発議7件、補正予算1件が追加提案され、議員定数を2名削減する発議は否決、議会基本条例制定の発議は全会一致で可決されました。

他の案件は全て原案可決され、陳情採択による意見書を議決し、関係行政庁へ送付しました。又、一般質問は12人の議員が村政全般について質問を行いました。

◎議会基本条例を制定
議会の憲法と言われる基本条例については、昨年6月より研究を重ね、住民懇談会や意見募集を経る中で今定例会で制定する運びとなりました。

県内で18番目、飯伊では3番目の制定となります。

平成27年1月1日施行となります。

（条例の細部については、議会改革検討委員会



賀 春

年頭のごあいさつ



議長 下 平 豊 久

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様方には、すがすがしい新春を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

この間、村政の進展と議会活性化に全力を注いで参りました。村民の皆様方からお寄せ戴きました温かいご指導やご厚情に対しまして厚く御礼を申し上げますと共に、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

昨年は、春先の大雪による大きな被害や、夏の異常気象による果樹への被害の発生があったほか、県内各地で発生した土石流・御嶽噴火・神城地震など大災害が発生しましたが、当村はお陰様で平穏な年でありました。

一方、社会文化施設「ゆめあるて」の竣工・戸建賃貸住宅建設・佐原線改修事業の推進と大企業の村内進出等、

新年明けましておめでとうございます。活気ある年でもありました。

とりわけ、リニア新幹線の事業認可のもと地元説明会も開催され、いよいよ中心線測量と路線の確定・用地測量・工事説明をへて工事着手へと展開されることとなります。

安倍内閣は思いきった金融緩和と財政出動などで、いわゆるアベノミクスを争点とした総選挙で議席を維持し、引き続き政権を担当することとなりました。

規制緩和による一定の成果がある反面、4月からの消費税8%への増税策による経済の腰折れ懸念が心配されますが、地方創世を力強く進め景気の回復と、社会保障や国民の安心安全な生活を守る施策の推進を願うものです。

私たち議会は、議会改革検討委員会を設置し、情報公開・議員定数と報酬等の検討加え、

村民の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈り申しあげ、新年のごあいさつといたします。

議会の意思ですので、ご理解を戴きたいと存じます。

村民の皆様方、今後とも議会への変わりぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会の責務と議員の職責、住民に開かれた議会とし、議会報告等をおして住民参加の議会活動へ議会改革を進める決意です。

議員定数では、定数12名とする条例が提案されましたが賛成少数で否決されました。

（分科会）で慎重に研究を重ねてきた結果、今定例会前の11月14日の全体検討会で現行定数が適当とする意見が大勢を占めました。

しかし、全会一致ではなく定数減を主張する議員4名から条例改正案が提出されたものです。

削減の根拠としては、現行議員報酬が低く若年層が議員になれない、2名削減し報酬を引き上げ、少数精鋭の議会にする、また、議会改革はまず議員自らが身を切ることから等です。

討論は改定に反対、賛成の立場から10名が発言しました。

反対討論



基本条例を制定した豊丘村議会

議員の意志表示一覧表（全員賛成除く）

<平成26年12月 第4回 定例会> ○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	唐澤啓六	前沢光昭	片桐秀人	川野孝子	片桐眞理子	松村正三	原 健治	片桐義憲	大原千賀子	井原康明	松下 亨	吉川明博	酒井浩文
豊丘村議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	否決	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	○	▼	▼	○	○

豊丘村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

この条例は、介護予防支援事業の運営基準を定めるものです。これまでは、厚生労働省令で定められていたましたが、介護保険法の改正により市町村の条例で定めることとなりました。

【12月議会請願・陳情について】

- 陳情 (23 P 参照)
 - ・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情

陳情者 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子
 神稲 壬生 勇樹

● 陳情 (23 P 参照)
 ・介護従事者の処遇改善を求める陳情
 陳情者 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子
 神稲 壬生 勇樹
 国と政府に「意見書」を送付しました。



暮れの行事 おやすづくり

豊丘村包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

この条例も前号条例と同様の経緯から、市町村での条例化が必要となったものです。内容は、地域包括支援センターの運営に係る諸基準、特に具体的な職員数について、規定しています。施行は平成27年1月1日です。

豊丘村家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例

この条例は、平成27年度よりスタートする子ども子育て新制度に対処するための諸基準を条例化したものです。条例では、「家庭的保育事業」「小規模保育事業」「居宅訪問型保育事業」「事業所内保育事業」について、それぞれ

特定教育、保育施設とは、認定こども園・幼稚園・認可保育所での20人以上の教育及び保育を行う施設で、村内3保育所が該当施設です。また、特定地域型保育事業とは前号条例で規定している4形態の事業です。条例では、これら事業における利用定員及び運営基準について定められています。施行は、平成27年4月1日からです。



補正予算

一般会計(第7号)

補正額4,347万円を追加し、総額4億6887万円とするものです。主なものは：

歳出

- ◎有線施設の修繕費を増額：940万円

設備の老朽化により、機器類の故障が年々増え続けています。当初予算で計上した700万円を上回る大幅な増額となり、NHKラジオの中継(朝・昼のニュース他)も今年度限りで取り止める予定です。

- ◎人口増対策費を増額：600万円

住宅用地の取得や新築に対する補助金が今後不足を生じる見込みとなるため追加するものです。

歳入

- ◎村税1960万円の増額

・住民税(個人)：600万円
 ・住民税(法人)：300万円
 ・固定資産税：500万円
 ・軽自動車税：60万円
 ・たばこ税：500万円
 住民税(個人)増は徴収率のアップと不動

産売買などによる所得の確定、固定資産税は横浜ゴムの26年分の土地に係わるもので、商業振興条例による減免は27年分からとなります。◎ふるさと納税制度による寄付金：2千万円を増額

総額で2億円を見込んでいます。現在までの実績は、約9千件、1億9300万円です。10万円以上の寄付は930件です。

歳出

- ◎農業振興費：250万円

アスパラガスの雨よけパイプハウスの設置補助で全額県より交付されます。

- ◎とよおかまつり交付金：40万円追加

当初予算330万円では不足となるので追加するものです。◎予備費：3147万円

簡易水道特別会計

◎河野新田地区の工場団地へ本管を延長：280万円

現在の団地の北東側へ工場が拡張されることとなるため、120m本管を延長布設するものです。

◎債務負担行為の補正 現在の3簡易水道を統合し、上水道に移行することを本年度と来年度の2ヶ年で実施する方針でしたが、これを28年度までに1年延長するものです。

限度額も、1千万円から4千万円に増額となります。

下水道事業特別会計

◎河野農集排施設の先行投資：820万円

簡易水道と同様の事情から、本管を120m延長布設するものです。



建築が進む民間開発の住宅団地

ふるさと納税 予算委員会

2億円 お礼品代は の質疑から

ふるさと納税、収入と経費見込み額は
収入は2億円、経費は約4割強

大原議員 ふるさと納税で手数料236万円、何に使うか。総務課長 寄付をいただいた方が9千人もあり、この管理システム構築に216万円、クレジット決済手数料が20万円不足のため補正する。松下議員 ふるさと納税の収入見込み額と、各種お礼品などの経費総額はどのくらいになるか。また、1件10万円以上の寄付で松茸を

仕事量と職員数の考えは

川野議員 職員の超過勤務手当が増額されている。現在の仕事量と職員数はどのように考えているか。村長 月16時間分は超

過勤務手当を支給しているが、これを超える分は代休扱いとしている。代休は、4か月以内に消化することとしているが、何人かは取

「区」が申請事務、結果は

吉川議員 今年度から始まった多面的機能支払交付金の村負担額を250万円ほど計上している。国への申請手続き事務は「区」が担当したが、事務分担をめぐり難航したと聞く。各区の状況はどうだったか。

産業建設課長 最初は反発などあったが、何回かの話し合いを行い理解していただいた。区によっては専門の担当者を選任したところもある。この事業は5年継続されるが、共同作業に対して、今まではもらえなかった交付金がもらえるのでメリットがある。来年度以降はスムーズにいけると考えている。唐澤議員 交付金の実際の流れはどうなるか。産業建設課長 各区が一括受領し、その後は

臨時司書賃金の増加理由は
閉館時刻延長、午後7時まで

片桐(眞)議員 図書館の臨時司書賃金が約60万円増額してあるが、この理由は何か。教委事務局長 閉館時刻をこれまでの午後6時から7時に延長したため不足分を計上した。片桐(秀)議員 自転車など二輪車置場の設置要望をしたがどうなっているか。教委事務局長 27年度予算で対応を考えたい。吉川議員 図書館の玄関がわかりにくい。目

用語解説
「多角的機能支払交付金」とは
国土の保全、水源の涵養(かんよう)、自然環境の保全、良好な景観の形成など、農業生産活動が行われることにより生ずる、多面的にわたる機能に対して、面積や共同作業に要した費用を基に支払われる新制度。

得せずに流している。吉川議員 仕事をグループ制にすれば1人だけで背負うことがなくなる。かつての経験から提案する。副村長 総人件費を抑

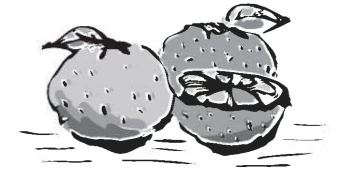
有線ラジオ放送、26年度で終了予定
周知徹底を図るなど慎重に

松村委員長 有線事業費の修繕費940万円は、テレビ受信用の各種機器の経年劣化に伴い更新する費用など。なお、ラジオ放送は7時・12時のニュースと15時にラジオ体操を流しているが、常時電源を入れることによつて他の機器に負荷がかかり故障原因にもなっている。利用率も勘案した中で、27年3月末をもって終了したいとのこと。相当の周知期間をもち、慎重に進めるよう要望した。吉川議員 ツイッターやフェイスブックとい

制することが命題。「ほうれんそう」の精神を生かしながら、仕事を分かち合うことが大事。日頃から職員には話している。

たソーシャルネットワークの時代となっている。

将来的には有線放送はなくす方向で検討するよう提案する。



音声告知用操作装置

「望郷の鐘」鑑賞補助内容は
一部補助か無料か検討中

唐澤議員 社会教育費に100万円計上されている。これは、映画「望郷の鐘」鑑賞補助金と思うが、この事業の内容と考え方は何か。教委事務局長 戦時中の満州移民を題材にした映画「望郷の鐘」の鑑賞補助金。当村では学校で小中学生に、「ゆめあるて」で一般を対象に上映を考えている。運営は実行委員会とするがその鑑賞補助。上映時期は来年1月以降としたい。村長 村の事

テーブルをうまく配置するなど工夫が必要。村民がいつでも気軽に集える使い勝手のよい場所にするよう要望する。片桐(秀)議員 全館土足解禁と思っていたら禁止の部屋もある。土足禁止の表示を要望する。

片桐(眞)議員 図書館の臨時司書賃金が約60万円増額してあるが、この理由は何か。教委事務局長 閉館時刻をこれまでの午後6時から7時に延長したため不足分を計上した。片桐(秀)議員 自転車など二輪車置場の設置要望をしたがどうなっているか。教委事務局長 27年度予算で対応を考えたい。吉川議員 図書館の玄関がわかりにくい。目

立つ看板の設置を。教委事務局長 見易い看板設置を考えたい。川野議員 施設管理委託料が14万円ほど計上されているが、何のための委託料か。教委事務局長 年に2回、ハードワックスをかけるための費用。堅いワックスなので持ちもよく効果はあるという。松下議員 「ゆめあるて」のオープンスペースは、涵養植物や椅子・



新図書館の窓口

議会基本条例(案)など説明、意見交換する

第2回 議会報告会

議会では10月31日に第2回議会報告会を開催しました。

会場は役場中会議室1ヶ所で行い、出席者は14名(女性は0)でした。この報告会の主な目的は豊丘村議会基本条例案についてご意見を頂くことですが、その他に議員定数、報酬についての中間報告、平成25年度決算の内容、来年度の予算要望、リニア特別委員会からの報告などを行い多くの意見、要望が出されました。議会基本条例案については、条文の説明を行い質問意見を伺いました。主な内容は次の通りです。

①前文の中に現況をうたっているがそれを適条文化することは適切か。
②3章3条の3 すべてで会議を公開する
とあるが、委員会や全員協議会も含まれるのか、また傍聴もできるということか。

①現況をうたった方が良いとの判断をした。
②すべて含まれる。プライベートに関する問題以外は傍聴もできる。

などの意見が出されました。その他の意見ではふるさと納税の返礼品について、営農ボランティアの所管について、松くい虫対策の要望、リニアに関しては早めの情報提供で住民の不安の解消等を希望されました。柿むき時期と重なり出席者が少なかつたのですが、今後も意見交換の場を設けますのでよろしくお願ひ致します。

議会基本条例制定までの経過

議会では、平成24年1月から議会改革検討委員会を立ちあげ、議会のあり方の検討を始めました。平成24年4月に各分科会にわかれ傍聴規則の再検討など議会改革のテーマを決めました。平成25年6月には分科会を再編成し、第1分科会では情



貴重な意見が出された報告会

報公開、議員定数、報酬、第2分科会では議会基本条例の制定についての取り組みを始めました。基本条例を制定するにあたり、必要性について意見交換を行いました。これまでの改革したことを明確にし、後退しないためにも条例化は必要との合意を得てから毎月1

回から2回の分科会を開催してきました。条文については、他市町村の条例を参考にし、先進地の視察も行う中で、良い所は取り入れ、わかりやすい表現を心がけました。豊丘村の基本条例は、条項も少なく簡潔になっていきます。県町村議会議長会事務局へも意見を求めて他の条例との整合性についても確認をし、議会報告会の開催、意見公募も行いました。

ズバリ直言 12議員 一般質問

1 川野 孝子 議員 (9ページ)

- ▼リフォーム助成金事業について
- ▼災害時の支え合いマップの作成について

2 片桐 秀人 議員 (10ページ)

- ▼下平村長の来期出馬について
- ▼リニア対策委員会(仮称)の立上げは行うか
- ▼介護保険の改正と総合支援事業の取組みについて

3 吉川 明博 議員 (11ページ)

- ▼27年度予算の基本的構想・方針について

4 酒井 浩文 議員 (12ページ)

- ▼災害ボランティアセンター設置の体制づくりについて

5 大原 千賀子 議員 (13ページ)

- ▼高齢者の支援について

6 前沢 光昭 議員 (14ページ)

- ▼子育て支援について
- ▼村長の選挙公約について

7 片桐 真理子 議員 (15ページ)

- ▼教育委員会の体制仕組みについて
- ▼地域包括ケアシステムの構築について

8 唐澤 啓六 議員 (16ページ)

- ▼介護保険第6期計画について
- ▼国民健康保険事業について
- ▼地域産業の振興策について

9 井原 康明 議員 (17ページ)

- ▼「ゆめあるて」駐車場の利用について
- ▼議員の視察研修に担当職員の同行配慮について

10 原 健治 議員 (18ページ)

- ▼6次産業の村づくり構想について
- ▼村民ランド周辺整備について
- ▼社会福祉について

11 片桐 義憲 議員 (19ページ)

- ▼生活困窮者自立支援法施行について

12 松下 亨 議員 (20ページ)

- ▼住民自治の推進に向けて
- ▼空き家等対策の推進について
- ▼森林の整備活用と林業振興策について

村政を問う

村の介護予防どう構築するか

答 地域の支え合いを推進したい

片桐秀人議員



村長 来期出馬は

質問 9月議会で村長は後援会の意向で決めるかと答えたが、村長 後援会からは出馬要請を頂いた。

質問 どうするつもりか。
村長 今議会最終日に発表したい。

「リニア対策委員会」設置は 村内説明会を終えた段階で

質問 12月に村内各地でJR東海の説明会が開かれたが、それぞれ

の地区で問題が違って、村民による対策委員会（仮称）を設置するつもりはないか。
村長 変電所のできる柏原地区の説明会が終わった段階で、できるだけ早く立ち上げたい。



リニア村内通過地点

質問 生活支援コーナーを養成していく必要があると言われているが、どのように支援活動を構築していくか。
健康福祉課長 昨年度介護予防サポーター講座を開催して、33名受



介護予防でいつまでも元気に

リフォーム助成金事業の復活は

答 平成27年度予算に載せていきたい

川野孝子議員



質問 平成23年〜25年までの3ヶ年実施されたリフォーム助成金事業は平成26年からは廃止になっている。継続を求める議会の質疑の中で村長は、今後については村内の景気の動向を見てから判断すると言ったが村内の現況をどうみているか。
村長 景気動向をみる中で、読み方の差もあると思うが思う以上に回復は悪いし、良くないということが真実である。
質問 リフォーム助成金事業の3ヶ年の成果、総括を開きたい。
産業建設課長 平成22年頃建設事業の仕事量が減少してきた中で何とか建設業、個人事業者等の仕事量の需要を創出するために平成23年から3年間実施してきた。商工会の皆さんにアンケート調査もされ、待ちの姿勢から営業活動もできるように

なり景気の悪かった中を乗り切れたとアンケートの結果にも出ていた。
質問 平成27年度の予算の中にリフォーム助成金事業の復活宣言はしてもらえるか。
村長 国としても地方創世ということで地方に力を入れて地方から日本全体を押し上げようとしている。村として後押しすることも必要と考える。27年度の当初予算に何らかの形でリフォーム助成金事業を載せていきたいと考えている。
質問 上限20万円という金額、複数回使える考えはあるか。
村長 その件については今後、もんでいくことであるので、また提案をいただきたい。

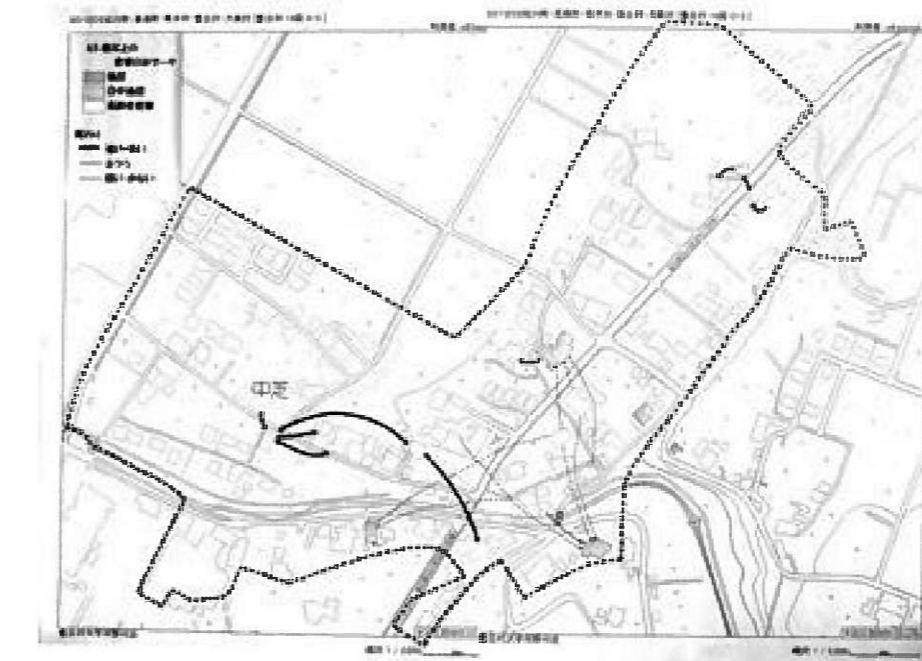


災害時の支え合いマップ作りは モデル地区を募る

質問 11月22日、長野県北部で発生した大地震で白馬村は家屋の倒壊が多くあった中で亡くなられた人が一人もいなかった。幸運であった。幸運であったことも考えられるが、日頃の支え合いマップがきっちりできていて住民の中に浸透していたと聞く。豊丘村ではこのマップ作りがどこまで進んでいるのか。
健康福祉課長 福島、中芝地区で行ったマップ作りは、高齢者が地域で見守りや協力し合うもので、災害時には多少異なる。災害時の支え合いマップについて

質問 国は介護保険を改定して、要支援を村が行うことにしたが、村はこの「日常生活支援事業」をどう行うか。まず包括支援センターはどうするか。
健康福祉課長 この役割は介護予防支援、総合相談、権利擁護で、今後中心的役割になる。

質問 生活支援コーナーの役割は。健康福祉課長 住み慣れた地域で安心して生活するための地域の支え合いを推進することになる。
質問 介護予防サポーターを養成していく必要があると言われているが、どのように支援活動を構築していくか。
健康福祉課長 昨年度介護予防サポーター講座を開催して、33名受



「近助」で協力 支え合いマップ

災害ボランティアセンターの体制は十分か

答 要綱に沿って体制づくりを行う

酒井浩文議員



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の様子

質問 豊丘村は今後、大規模災害の発生が想定される地域である。実際に災害が発生してから準備を始めても、混乱した状況の中で対応できることには限度があり、平時から行政と災害ボランティアセンターが連携をとり、各種資機材、物資の備蓄等の支援を行っていく必要がある。

豊丘村の災害ボランティアセンターの災害ボランティアセンターの現状は、即対応できる体制が整っていない。今後予想される災害に対し、災害ボランティアセンターの位置づけはどうか、また立ち上げ・運営の体制づくりをどう考えているか。

健康福祉課長 災害ボランティアセンターの体制は不十分である。11月1日にボランティアセンター設置要綱ができた。要綱に沿って緊急に体制づくりを検討していく。

質問 災害ボランティアセンターは、現地でボランティア活動を希望するものと、実際の被災地のニーズを結びつけるという点で、非常に大きな役割を果たす。被災状況の確認や活動状況の迅速な発信は、行政との連携が必須である。具体的にどのような連携が可能か、またボランティアセンター立ち上げ及び運営において、行政が担う責務は。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

健康福祉課長 災害ボランティアセンターの体制は不十分である。11月1日にボランティアセンター設置要綱ができた。要綱に沿って緊急に体制づくりを検討していく。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

ボランティアは装備が大切

27年度予算の基本的な構想・方針は

答 少子高齢化、高齢者の増加、医療費がメイン

吉川明博議員



質問 27年度重点的に進める事業の説明を。村長 1月5日に予算編成会議を開催しスタートする。私の認識は来年がリニア元年。日本が抱える一番の問題の少子高齢化、高齢者の増加、医療費がメインとなる。本年度、総務省内閣府の調査で20代の40〜50%が、雇用さえあれば田舎にきたいという調査結果がある。少子高齢化について新しい形、日本の未来のあり方を示せるモデル地区になれると考える。今からしっかりとソフト（利用の仕方）の施策をする。

質問 未成年者の医療費の無料化は必須である。保育園、小・中学校での諸費用の無償化を行うか、それに見合う現金支給による、目に見える実感のある子育て支援施策が必要。どこまで可能なのか試算をしてみる価値はあると思うがどうかと9月議会の質問に、村長は「いろいろ制度を利用しながら、子供を育てるなら豊丘で育てようという流れに持っていきたい」と答弁した。試算はしたか。

村長 保育料は3歳以上児で年平均14万4千円。小中学校は給食費を除いて南小学校が3万2千円、北小学校が3万1千円、中学校が3万5千円集金している。質問 合計約23万円強だが、27年度予算に入れるつもりはあるか。村長 何かしら27年度に、今までどおりじゃないものも一つぐらいあってもいいかなという気がしている。質問 前議会の提案をもう一步進めて、高校卒業まで、または19歳の誕生日前日まで支援することを提案する。

3年間の試行をして増えるかどうか効果を確認し、予算化して人が増えず歳出がなくなると、村にとつての損失はない。試行するだけでも村のPR効果はあると思う。

豊丘村で結婚し定住を約束して（住民票転入）祝い金50万円、第一子を出産されたら100万円、第二子も同様、第三子も同様、第四子も同様、第四子を出産されたら200万円、計600万円、など現金給付の具体的子育て支援と、人口増施策をすることをどう考えるか。村営賃貸住宅を建てるよりも少額である。方法論でなく、するか、しないか村長の考えを問う。

陽だまりで遊ぶ保育園児

センター立ち上げ訓練は実施する

質問 災害ボランティアセンターの役割や機能の理解を深め、平時からの災害に備えた取り組みと、被災にも強い組織づくりのうえで、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練は大変有効である。豊丘村でもぜひ実施を。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

健康福祉課長 豊丘村として今後実施して行きたい。

子育て支援の充実を

答 いいものは研究しながら進めたい

前沢光昭議員



質問 子育て支援では飯田下伊那は県下の中でも他地域に劣らない内容にあり、豊丘村でも決して負けない内容で進められている。そのことが最近の住宅政策と合わせ、保育園、小学校での園児、生徒数の若干ではあるが増加につながっている。最近の景気状況から子育て世代や、若い世代の雇用状況が発表され、雇用が若干増えたと言われているが実態は、非正規労働者が大幅に増え、正規労働者は減少する一方である。このような中で、保護者の世代も収入が減少して、義務教育の保護者負担も大きくなっていく。給食費は教育費保護者負担の半分くらいを占めている。

① 小中学校の1人あたりの負担額は、

② 給食費の無料化はできないか。

質問 子育て支援では飯田下伊那は県下の中でも他地域に劣らない内容にあり、豊丘村でも決して負けない内容で進められている。そのことが最近の住宅政策と合わせ、保育園、小学校での園児、生徒数の若干ではあるが増加につながっている。最近の景気状況から子育て世代や、若い世代の雇用状況が発表され、雇用が若干増えたと言われているが実態は、非正規労働者が大幅に増え、正規労働者は減少する一方である。このような中で、保護者の世代も収入が減少して、義務教育の保護者負担も大きくなっていく。給食費は教育費保護者負担の半分くらいを占めている。

③ どうしてもできないとすれば、多子世帯、ひとり親世帯などへの無料化を検討されたい。(葛飾区では実施)

村長 景気状況については上向きになっているし、雇用状況は増えているし明るい兆しもある。

① 小学校が1食254円で年間5万2千円。中学校は1食3千円。米飯給食の米代を全額補助しているのは豊丘村だけである。

② 提案の理由についてはよくわかるが、近隣のバランスもある。売木村ではすでに行っている。豊丘村としてはすぐにはできない。

③ 最も厳しいと思われる子どもの多い世帯、ひとり親世帯等への対策としては就学援助

質問 4年前の村長公約で校庭、園庭の芝生化について公約された。その後の質問の中で、「研究をすすめ、最も良い方法で実現したい」とのことだったが、その後検討してどうなったか。

村長 少し時間はかかったが、研究の方向が出た。ケンタッキーという種類が最もよいという結論になった。新年度の予算に入れて行きたい。

教育長 村長の答弁と基本的に同じ。松本でこの芝を使っているの状況も見に行きたい。ただ問題は散水をしなければならぬことである。



松川町双葉保育園の芝生の園庭

高齢者支援と認知症への対策は

答 先進地を参考に取る

大原千賀子議員



質問 介護認定者の内在宅介護の人数と割合。在宅介護者への支援の状況。在宅介護の内、認知症の在宅者数と割合。認定の調査方法は。

健康福祉課長 認定者370名中、在宅介護者は71%263名。また、認知症は370名中61%227名で、この内在宅介護者は58%の131名。認定調査は地域包括支援センターに介護保険の申請をして、認定調査員が自宅や病院に向き、全国共通の項目で調査、広域の認定審査会で判定する。在宅の家族への支援は、要介護3・4・5の介護を年180日以上3万円支給している。又年4回帰りの旅行がある。

質問 介護認定が低くても、家族は苦勞が多い、特に認知症を抱えた家族は大変。認知症は全国でも46.2万人。

社会文教委員会では、九州の高齢者支援・認知症対策の先進地を視察してきた。先進地は介護予防や認知症サポーターを市・町を挙げて養成、子ども達も学習している。

また認知症測定もしている。自分を知ることとは必要と思う。以前認知症について、前社協の会長が熱心に講演された。現在の取り組みを伺う。認知症対策を「国家戦略」と国は方針づけたが、村の方針を伺う。先進地視察に同行した副村長にも感想と今後の活用について伺う。本来なら担当課長に同行頂きたいと思つた。

健康福祉課長 学習会はミニデイ、高齢者クラブの会合、伴野区の敬老会等でも行い、認知症サポーター講座も役員職員を対象に行つた。今後も研修や養成等先進地を参考に取る

質問 認知症の支援は介護保険事業の最重要課題になる。早期の気づきと診断、見守り、継続した体制づくりを推進する。

副村長 九州の視察はたくさん良い情報が得られた。徘徊対策訓練をするなど、地域全体で支える仕組みがみられた。本村でも先進地の施策を取り入れる。

質問 高齢者を支える包括支援センターは大変な部署、特にケアマネージャーは経験豊かな人材が必要、今後の体制はどうか。

村長 大事なボジションである。今は嘱託であるが、正規の人材が必要になると思う。



質問 ボランティアセンターを中心に配食サービスをしているが当初より数が減っている、要因は何か。高齢者の栄養不足を言われるが、村はどう考えているか。今後の配食サービスとボランティアセンターの活用は。

健康福祉課長 当初45食で現在38食。この位なら自分でできる、嫌いな献立だったり減っている。安否確認が目的であるが、週1回は栄養面は足りない。回数の増加、内容の充実を含め、多岐にわたるボランティアセンターを充実させる。



視察先の熊本県錦町役場にて研修

校庭・園庭の芝生化は 答 新年度で実施したい

質問 4年前の村長公約で校庭、園庭の芝生化について公約された。その後の質問の中で、「研究をすすめ、最も良い方法で実現したい」とのことだったが、その後検討してどうなったか。

村長 少し時間はかかったが、研究の方向が出た。ケンタッキーという種類が最もよいという結論になった。新年度の予算に入れて行きたい。

教育長 村長の答弁と基本的に同じ。松本でこの芝を使っているの状況も見に行きたい。ただ問題は散水をしなければならぬことである。

にも良い方法があれば提案してほしい。

配食の状況と今後を伺う 答 回数の増加、内容の充実を検討する

質問 ボランティアセンターを中心に配食サービスをしているが当初より数が減っている、要因は何か。高齢者の栄養不足を言われるが、村はどう考えているか。今後の配食サービスとボランティアセンターの活用は。

健康福祉課長 当初45食で現在38食。この位なら自分でできる、嫌いな献立だったり減っている。安否確認が目的であるが、週1回は栄養面は足りない。回数の増加、内容の充実を含め、多岐にわたるボランティアセンターを充実させる。

介護保険第6期計画策定は

答 素案は第5回の会議で決定する

唐澤啓六議員



質問 平成27年度から29年度までの第6期介護保険事業計画の策定スケジュールが遅れているがなぜか。計画の素案はいつころ、何回目の会議で示されるのか。また、次期保険料はどのように試算しているのか。

健康福祉課長 第5期を総括する関係と、本年開所した特養「はやし」の杜の実績を把握して次期計画の参考にするため第6期計画の委員会の開催が遅れた。素案は、第4回の会議で示し第5回の会議で決定してまいりたい。保険料は、現行（月額）基準額5200円を6100円と試算している。

質問 引き上げ幅17.3%、年額1万円以上の大幅アップとなる。据え置きか、もう少し小幅な引き上げとするよう一般会計から繰り入れることは考えられないか。

答 いか。村長 少しでも安くしたいという気持ちは私も持っているが、一般会計からの繰り入れは県内では行っておらず全国的に例が少ない。今のところは、国のルールに乗っかって繰り入れはできないと考える。

質問 要支援認定者が受ける保険サービスから、通所介護と訪問介護の2大サービスを取り上げ市町村の地域支援事業（総合事業）に移すことは、受給権の剥奪とサービスの質の低下を招く重大な問題である。総合事業への移行は拙速に行わず、十分な検討をするべきではないか。

健康福祉課長 移行は28年度からと考えているが、時間をかけて十分検討していきたい。

国保税滞納者への短期保険証の扱いは

質問 国民健康保険税滞納者に対し、有効期限が1年未満の短期保険証を発行している。中でも、1ヶ月という極く短い期限の保険証が発行されている。事務的にも煩雑であり、被保険者の立場から3ヶ月あるいは6ヶ月期限の保険証にすべきではないか。

税務会計課長 滞納金額が多額になると納税が大変になるので、できるだけ納税相談の機会をとれるよう、今後同様の措置をとっていく。ただし、18才未満については6ヶ月の短期証を発行している。

質問 河野地蔵道地区の村営住宅建設事業の実施が遅れており、年度内竣工が困難と思われるが、現状と遅れの要因は。

この事業は、県住宅供給公社が発注することとなるが、入札方式については県の基準に縛られずに村独自の考え方、村内業者優先の方式をとるべきと考えるが。

総務課長 同地区では、戸建て住宅5戸と宅地造成を4区画計画している。現在、進入道路の改良、宅地内道路の新設、上下水道布設工事がすべて同時施工となっており、この影響で予定より遅れている。住宅の完成は来年9月頃を予定している。



急ピッチで造成が進む地蔵道予定地

新教育委員会の体制は

答 教育長に一本化される

片桐真理子議員



質問 昭和23年にできた教育委員会制度は教育が政治からの影響を受けないように設けられたもので、自治体のトップの考え方次第で教育内容が変わったりしないように独立して教育行政に当たってきたと聞いている。今回、改正地方教育行政法が可決され平成27年4月の施行にむけて見直しされるということであるがどう変わるのか。

教育長 教育委員長と教育長を一本化して迅速に対応できるようにする。村長と教育委員会の下に総合教育会議を設けて首長の考え方が反映され年2〜3回開く予定。今まで以上に教育の中立性を担保し、子ども達



輝丘議会に出席した教育委員長

が安心して教育を受けられ、子どもの成長を重視し、社会に役立つ教育が大事であると考えている。

質問 村長の権限は以前より関わりが強化されると思うが。

村長 小中学校の状況を把握しながら一緒の責任を負う中で、地域の子育て、教育をしっかりやりなさいということだと思ふ。

質問 医療、介護の需要は今後急増してくる。社会保障制度を持続していくには、支え合う仕組みをつくらなければならぬ。生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステムの仕組みを国の方で作ったが、それには地域包括支援センターの機能強化が必要である。携わる職員の人材確保、育成、知識、経験を更に高めていけるよう研修、先進地の視察に積極的に取り組んで頂きたいと思うが。

村長 そのような気持ちで来期の構想を練っている。それなりの予算もしっかりつけていく。

質問 地域包括支援センターにおける近隣市町村との連携、役割分担はどうか。

地域包括支援センターの機能強化を

答 来期の構想を練っている



宅老所「どんつく」視察

健康福祉課長 今年度飯伊圏地域包括支援センターと広域連携会議が組織され、飯田市が中心となり調整会議が開かれた。地域のかかりつけ医と介護現場、この連携を進めるため、飯田医師会が中心となり医療と介護の他職種共同の人材育成事業を進めている。医療と介護の連携に向けた研修にも取り組んでいる。

村まるごと6次産業化の展望は

答 課題に立ち向かう支配人の手腕に期待

原 健治議員



北海道長沼町の直売所「夢きらら」

質問 村の駅（仮称）総括支配人応募状況は。産業建設課長 応募している人は8名。質問 6次産業化の村づくり構想の中で直売事業、農家レストラン事業を村として取り組むことを考えているか。産業建設課長 村としての方向性を持って、支配人を交えて議論していただく。

6〜10年先に観光農業施設を林原に開設することを目指しているが、耕作者等と会合を重ねてきたこととの整合性はどうか。産業建設課長 人・農地プランの懇談会は全体懇談2回、林原団地推進委員会3回開催して現在のプランとなっているので、整合性はとれていると理解している。



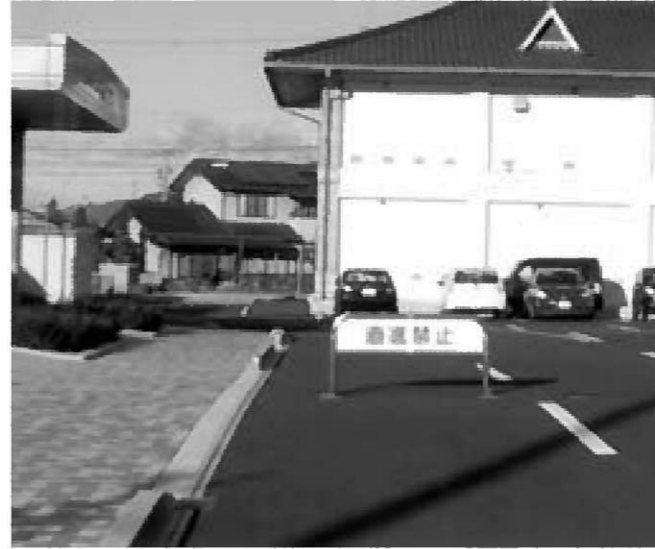
使いやすい村民グラウンドを目指して

質問 給食センターが新築されるが、6次産業化の中で話題になったカット工場、ソフトスチーム事業は取り入れられるか。産業建設課長 新たな技術として、学校給食等で生野菜の提供方法として、食べやすくするためのソフトスチームは、村長、教育長、関係者で視察し、検討したが、多額な費用と敷地の問題等で、改築に合わせた導入は見送ることになった。

「ゆめあるて」構内の追加整備を

答 様子を見ながら改善したい

井原康明議員



改繕が望まれる「ゆめあるて」構内

質問 「ゆめあるて」構内について。村道と構内道の区切りはどの様か。教委事務局長 資料館東側からと、県道側から進入して南に抜ける道が、村道中手田線である。また、交番横からの侵入路で図書館前までは構内道であり、駐車場の関係で年度内に位置づけ替えを行う。

面の構内道において、休日夜間に車止めバリケードが設置してあるが、目的はなにか。南側から進入した場合、進路変更をするなど危険が増すので撤去はできないか。教委事務局長 構内を高速で走り抜ける方がおり、危険な時があったため。現在まで様子を見てきたが高速で通り抜ける方は少ない感じである。そろそろ決

断する時期と断っている。要望 高齢者のイベント時はあった方がいい場合もあるので、ケースパイケースで撤去を考えて欲しい。質問 構内の照明が暗く高齢者には危険である。また、交番裏の照明は位置的に問題あり、交番横の侵入口を暗くしている。資料館の西側角に移動できないか。歩道緑石の関連でも、図書館用の駐車場入り口が直角のため、縁石に乗り上げる方が多く大変危険である。改善が望ましいが設計時に十分検討をしたか。教委事務局長 設計では検討されたが、現状照明が少ないと感じている。縁石関係については、一応その辺は規格通りであるが、現実タイヤ痕もあり、照明関連を含め、早急に検討及び改修を図っていく。



鹿児島県の子育て支援拠点「りぼん館」

議員視察に職員が同行すべき

答 職務として同行させたい

質問 先般の議員研修視察が行われ、改めて関係職員の同行視察が必要であり、重要と痛感した。今後の視察に現場職員の同行配慮を望む。教育長 担当職員の同行は大変重要と考え、機会あること実施が望ましい。副村長 必要性は感じるが、豊丘モデルでも良いかと思う。村長 現場に向くことは大変なこと、今後は職務として出張させる。

村民グラウンド周辺整備は

答 村の理事者と検討中

質問 野外テニスコート奥に駐車場拡張の計画は。教委事務局長 林原木門地区の皆さんと相談を重ねてきた。大きな大会が行われる時の大型バスや家用車の駐車場不足、トイレの使用が難しい等の要望をふまえ、理事者と相談し次年度予算対応している。質問 村民グラウンドの駐車場についての今後の計画は。教委事務局長 近くに駐車場をとる要望は地元の方から出ているので、現在庁内で検討中である。

『生活困窮者に支援を』

答 検討している

質問 消費税がアップされているものが高くなってきている。昨今、1ヶ月に27、500円の年金額では食べるものを節約して生活している方達がいる。その人達に村は支援することができないか。村長 村としても生活困窮者に対して打つ手はないか考えている。



廃屋対策、所有者指導は 答 持ち主には文書指導をする

松下 亨議員



質問 この問題は予てからの懸案事項で、国の動向を注視してきた。国は先の第187国会で空き家等対策の推進に関する特別措置法案を成立させた。これを受け村はどのように対処するか。なお、空き家の実態調査と税務で行った全棟調査の結果はどうか。

環境課長 区・自治会に依頼した実態調査は現在16自治会から回答があり、35件の報告がでている。村では、国の法律成立に伴い策定される基本計画の内容をみて具体的な対策を考えた。

税務会計課長 税務で行った全棟調査の結果、居住できないと思われる住宅は28件であった。なお、対象家屋の定義がないのであくまで職員の主観での数字である。

質問 国や県の動向をみてから具体的な検討

するというのが、もっと積極的に進めないか。この問題は、平成24年から3年越しの課題。スピード感がもつとするとする下平村長として、もつと前向きな対応はできないか。

質問 長年の木材価格の低迷等で森林資源の整備・活用が十分でないと思われる。山林の荒廃で土砂災害や景観が損なわれるなど村発展のマイナス要因である。そこで、整備・活用の現状と今後の対応策を質問する。また、塩尻市で取り組んでいる「信州Fパワープロジェクト」の大規模木材加工施設と木質バイオマス発電について、飯伊地域でも実現できるように研究したらどうか。木材の利用拡大と

木質バイオマス発電構想は 答 資金・採算面等で課題は多い

村長 持ち主に対する文書指導等の行動は大至急行う。この問題に対する村の基本方針は、来年の今頃までにはしっかりと決めていきたい。

産業建設課長 山林整備の現状は、伴野神社周辺や北洞地籍などで県の補助を受け間伐を実施した。村施設への活用は、「ゆめあるて」や図書館では腰板に檜や杉を使用した。河野児童クラブでも使っている。

飯伊地域への木質バイオマス発電所は、現段階では厳しいと考えている。理由は①資金と採算がとれるか。②原料の供給体制がとれるか。



現在建設中の塩尻市大規模木材加工施設（計画図）

生活困窮者自立支援の取り組みは 答 相談の出口までを完全サポート

片桐義憲議員



質問 来年4月より施行される生活困窮者自立支援法。新しい仕組みの中でスタートを切る。県の生活就労支援センター等とも日常的連携を持ち推進されるもので、行政と民間の垣根を越えた顔の見える支援体制の構築である。市町村の役割や、関係機関、団体のより密な連携の重要さを強く認識する。

特に飯伊地区のハブ機能を持つ飯田生活支援センターとの連携は大切である。この2年間県のモデル事業として取り組んできた同センターには、これまで多くの相談が寄せられてきた。当村においての相談内容について伺いたい。

健康福祉課長 このセンターへの相談件数は、9月末現在、管内総数は42件。村関係では女性3件、男性1件の4件。40才代から50才

代。内容としては、就労あるいは家族に関する事等、幅広い内容となっている。

質問 地域の実態の把握とともに、生活や、就労など総合的課題を抱えた方への包括的、継続的な個別支援であったり、就労先の開拓、各種就労訓練事業との連携等、地域支援、体制づくりが重要であると考えられる。30代から50代にかけての男性の相談者が多く、求職・就職・収入・債務・健康・障害・人間関係・住居等、幅広い相談内容となっている。村として、今後の取り組みの仕方や対応をど

の様に考えているか伺う。

健康福祉課長 事業主体は県であるが、村の役割としては相談に来られる皆様の第一段階の窓口として、機能強化を図っていく。また自治体の協力体制の強化として、相談者の入口より出口の充実を図ることが重要と考え

ている。具体的には、就労先等以外の掘り起こし、あるいは就労後の相談等、幅広く関わりを持ちサポートしていくことが重要と考えている。

また潜在的な人もいることも考えられ、調査等も必要と考えている。今後も、飯伊地区のネットワークを核と

して、県と一体的に事業推進を図っていく。要望 福祉分野だけの取り組みでは事業推進は困難。農林業、企業等と福祉の連携や高齢者支援と生活困窮者支援の政策的統合などが強化される様な一層の努力を願いたい。

委員会だより

総務産建委員会

12月5日開催の委員会で、全国林野関連労働組合中部地方本部から要請があった山村振興法の延長等を求める要請書について審議しました。

「要請内容」 山村と取り巻く環境は、農林業の低迷などで依然として厳しい状況である。そのような中で「山村振興法」が平成27年3月末をもって期限切れになる。しかし、山村地域の現状を考えると期限の延長と内容の充実が不可避である。よって、要請書を採用の上、国に対して意見書を提出していただきたい。

「審議内容と結果」 当村では「神稲」地区がこの法律の適用を受けており、様々な事業に

山村振興法の延長等を求める要請書を採用し、国に意見書提出

において有利な助成を受けている。よって、期限延長は必要なこととして、委員全員の賛成で「採択」としました。

なお、要請の趣旨は「期限延長」であるため、施策拡充に関わる部分は除外した意見書を、内閣総理大臣・衆参議両議長他へ提出することをしました。

昨年の10月15日から3日間、北海道河内町の「(有)阪農場」と旭川市の農業生産法人「西神楽夢民村」の視察研修を行いました。目的は、当村が計画している6次産業事業の先進地を視察。川内町の「(有)

どぶろく特区で5種類醸造 北海道河内町他視察報告

阪農場」では、休耕地を買い上げ米作を中心に大規模生産と、農家民宿農家レストランの経営を行っている。休耕地を買い上げた結果、28haの農地で稲作中心の耕作している。平成17年に町が始めたグリーン

用語解説
山村振興法とは
この法律は、山村地域の振興を目的に昭和40年に制定される。指定要件は、林野率や人口密度が一定の数値を超える山村。豊丘村では神稲地区が該当。指定を受けると、各種事業の国庫補助金が高上げされる。



好調のビニールハウスの直売所

ツーリズムの一環で農家民宿を始める。その後、どぶろく特区が認可され醸造を開始。今では5種類のどぶろくを、道の駅や農協などで販売している。

旭川市の農業法人「西神楽夢民村」では、6次産業化の取り組みについて話を聞く。平成6年に9名で任意団体「夢民村」を設立。平成14年には酒米「吟風」の作付開始。平成19年に直売所オープン。平成24年には6次産業化が認可され、吟醸酒IKIをニューヨークで販売開始。ネット販売が増加傾向。直売所は、閉店したコンビニ店舗を購入して、小さな販売部分と食事スペースの簡素なもの。道内の様々な物産展に出店したり、海外展開も行い、勝負はこれからとのこと。

編集委員 吉川明博

リニア特別委員会

リニア工事計画認可 着工へ ・・・リニア特別委員会の活動報告・・・

リニア特別委員長 酒井浩文

認可後のスケジュールを確認

10月17日、太田国土交通大臣はJR東海に対し、リニア中央新幹線の工事実施計画を認可しました。10月30日の委員会は、この認可の経過報告と、各市町村で開催される事業説明会（豊丘村1ヶ所）と、地区別事業説明会（伴野・壬生沢・福島・佐原の4ヶ所）のスケジュールを確認し、併せて発生残土受入候補地の地元説明会（佐原地区・本山区）の内容について、本山区の林地内測量立ち入り許可に関する報告を受けました。工事認可によりJR東海は、沿線各地に工事事務所を設置

し、工事計画の説明会を経て、用地取得に向けた詳しい測量を始める計画です。質疑の中で、

事業説明会で具体計画が示される

11月4日、県内9ヶ所で開催される最初の事業説明会が、豊丘村で開催されました。会場となった南小学校の体育館には住民約190人が参加し、JR東海から全体計画・工事概要・環境保全の取り組み・用地取得に伴う補償今後のスケジュールについての説明を受けました。説明後の質疑は残土処理への質問が多く、上流域への残

土処理の危険性や、災害発生時の補償等の意見が出され、下流域の住民の理解を経ての実施、残土処理施工上の保証の確認がされ、また用地取得の作業は県に委託すると説明、湧水の調査箇所はトンネル工事により影響のありそうなどころを選定するとの回答がありました。

11月25日の委員会は、村内4ヶ所で開催

される地区別説明会の日程や住民主体のリニア対策委員会の必要性が話題となり、委員会を確認しました。



恵那山残土処理地視察

11月26日、議員有志と森田リニア対策室長により、恵那山トンネル残土処理地の視察を行いました。目的は、残土処理の安全性の確認、活用策等、豊丘村の残土処分地の安全性や活用についてを参考にするため、阿智村の熊谷元議長と熊谷リニア対策委員長の案内で実施しました。この中で、残土は地域計画に基づいて有効に活用すべきであり、受け入れの条件を明確にし地域の活性化のために戦略的に活用することを教授されました。現地視察では、工事後約50年近く経過しますが、観光地としての残土の有効活用と、現状の処理地の安全性を確認することができました。豊丘村とは条件の違いはありますが、しっかりと地域計画の中で残土の活用を考えるとという点は、村が真っ先に取り組むべき課題として改めて感じた視察となりました。

恵那山トンネル残土処理地を視察

11月26日、議員有志と森田リニア対策室長により、恵那山トンネル残土処理地の視察を行いました。目的は、残土処理の安全性の確認、活用策等、豊丘村の残土処分地の安全性や活用についてを参考にするため、阿智村の熊谷元議長と熊谷リニア対策委員長の案内で実施しました。この中で、残土は地域計画に基づいて有効に活用すべきであり、受け入れの条件を明確にし地域の活性化のために戦略的に活用することを教授されました。現地視察では、工事後約50年近く経過しますが、観光地としての残土の有効活用と、現状の処理地の安全性を確認することができました。豊丘村とは条件の違いはありますが、しっかりと地域計画の中で残土の活用を考えるとという点は、村が真っ先に取り組むべき課題として改めて感じた視察となりました。

追跡 ▶ あの件はその後、どうなったの？

以前の一般質問等で「検討する」となっている事柄が、その後、どうなっているか報告します。

空き家、廃屋対策について

質 問 「空き家・廃屋対策条例」の制定は（平成24年9月質問）

答 弁 何らかの新たな施策を考えたい。

その後 平成26年12月議会一般質問より

国の、空き家等対策の推進に関する特別措置法案成立。村は区、自治会に依頼して実施調査する。回答のあった28棟の廃屋を確認中。今後は早急に所有者に対して文書指導を実施する。

また、村の基本的な対策方針は来年中（27年度）までに策定する。



増加する空き家・廃屋に光明が

子育て支援センターの設置場所について

経 過 村は平成25年9月議会一般質問で子育て支援センターについては、旧図書館内へ設置する方針が示される。議会社会文教委員会で検討した結果、保健センター内への設置が好ましいとの結論。村側へ意向を示し、保健センター内に設置場所が決まる。

その後 平成26年10月全員協議会より

保健センターの旧愛ネット北部事務室を中心とした1階部分を、子育て支援センタースペースとして改修工事が始まる。完成は平成27年1月中旬の予定。改修の概要は、常設サロンスペース・廊下サロンスペース・出入口から遊び場の通路・遊び場（外） 改修事業費は850万円。



楽しい遊び場も間もなく完成

委員会だより

社会文教委員会

安全・安心の医療介護の実現などを求める陳情他を採択

長野県医療労連からの陳情2件を12月9日慎重審議し、委員会全員一致で採択しました。

◇安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情「陳情の趣旨」

看護職員の労働実態調査では、慢性疲労77%、辞めたいと思う74%、十分な看護ができていない55%、ミス・ニアミスの経験が80%が実態。医療従事者の勤務環境改善が求められている。

①看護士など「夜勤交代制労働者の労働時間を、1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上」とし、労働環境を改善する。
②医師・看護士・介護職

員などを大幅に増やす。
③患者・利用者の自己負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現。

④病床削減・平均在院日数の短縮ありきではなく、それぞれの地域の実情に合った医療・介護を充実させることが必要。

以上の趣旨を踏まえ、委員会では労働現場の厳しさの改善は必要であるが、週32時間以内については、ハードルが高いのではないかと意見も出されましたが、請願者の意を汲んで採択しました。意見書提出にあたっては診療報酬・介護報酬引き上げを追加することとしました。

◇介護従事者の処遇改善を求める陳情「陳情の趣旨」

超高齢化社会を迎え、介護のニーズが高まるなかで「低賃金、重労働」という介護現場の離職率は高く、深刻な人手不足となつて

子育て支援・介護予防など学ぶ九州の3市町視察報告

社会文教委員会で

は、11月19日から21日に副村長、教育長と共に、9人で九州の子育て支援・認知症対策・高齢者支援の先進地へ視察に行ってきました。

1日目は鹿児島市の子育て支援事業を視察。市と市民全体で子育てを応援する機運を高め、安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めており、子育て交流館（愛称りぼんかん）は1日平均433人の利用

いる。介護現場には介護職以外の職種もあり、国の責任で処遇改善を図る対策を要望。
①介護従事者の処遇を抜本的に改善する。処遇改善の費用については、保険料や利用料に転嫁せず、国費で行う。

がある。2日目は認知症施策に取り組んでいる熊本県錦町を視察。認知症にやさしい地域を目指し、啓発、理解促進のためサポーターやキャラバンメイ

トの養成講座に多くの町民が参加し、町ぐるみで支援している。3日目は熊本県山鹿市を視察。介護予防にサポーターを養成

②処遇改善の対象職員以外の職種にも拡大すること。介護職員以外の職種とはケアマネージャー、事務職員等であり、請願者の意を汲んで採択としました。

し、一次、二次予防に地域全体で取組み意識向上につなげている。どの視察先も、地域住民の多くが関わっており、その意識の高さを学びました。豊丘村も少しでも先進地に近づけたらと感じました。編集委員 大原千賀子



鹿児島市「りぼん館」の内部

みんなのページ

シリーズ

私ががんばっています



青木圭介さん
(中部三)

昨年4月初旬に会社の転勤で神奈川県平塚市から豊丘村に引っ越して参りました。慣れない土地で子供が馴染めるか、一からの近所付き合い、生活環境、不安はいっぱいありました。

しかし、そんな不安だらけの私たちを自治会の方々ははじめ村の方々は温かく迎えて下さいました。

10月の河野区民運動会では、皆さんと力を合わせ3位になりました。優勝はできませんでしたが、皆さんとより親しくさせて頂いたのが、嬉しい一日を過ごせました。道作りやおかまつり等でも、村の方々と接する機会が多くとても嬉しく思っています。夏には保育園のすぐ側でホタルを見ることができました。神

河野区中部三の村営住宅に3人でお住まいで、近くの事業所にお勤めになられておられます

奈川にいた頃には見たことがなかったホタル、こんなに間近で見ることができて、家族みんな感動しました。野菜や果物、松茸まで皆さんにいただき美味しさと、優しさに感謝でいっぱいです。

こちらへ来てまだ一年も経ちませんが、たくさん素敵な経験をさせて頂いています。来たりばかりに感じていた「不安」はもうすっかりなくなりました。

今年から保育園に通い始めた娘の口からも「きれい」「かわいい」「楽しい」などの感動を表す言葉も多く出てくる様になりました。夫婦も大満足です。そして、村の方々と近所との関わりの大切さを改めて実感しています。このような環境の中で生活、子育てができることを幸せに思います。

編集後記

◇新年明けましておめでとうございます。未(ひつじ)干支の由来を調べてみました。【縁起話】群れをなす羊は、家族の安泰を示しつつまでも平和な暮らしを意味しています。

【未年生まれの特徴】穏やかで人情に厚い。「未」は『漢書』律曆志によると「昧(まい)暗い」の意で、植物が鬱蒼と茂って暗く覆うこととされる。『説文解字』によると「昧(み)あじ」の意味合で、果実が熟して滋味が生じた状態を表しているとされる。後に、覚え易くするために動物の羊が割り当てられた。このこと。一月八日に六十才になりました。(吉川明博記)

発行責任者

議長 長 下平 豊久

編集委員会

委員長 松下 亨
副委員長 酒井 浩文
委員 大原千賀子
委員 吉川 明博
委員 唐澤 啓六